

2020年12月14日
日本銀行大分支店



大分県内の景気動向

2020年12月公表分

本資料は当店ホームページにも掲載しています。

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>



〈本件に関するお問い合わせ先〉

総務課 (TEL : 097-533-9106)

(FAX : 097-538-7085)

E-Mail : ooita@boj.or.jp

(総論)

大分県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から弱さが残るものの、緩やかに持ち直している。

個人消費は、弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられている。この間、観光は、低めの水準ながら、緩やかに持ち直している。住宅投資は、弱めの動きがみられている。公共投資は、増勢が鈍化している。設備投資は、底堅く推移している。

鉱工業生産は、持ち直している。

雇用・所得面をみると、労働需給は、緩和の動きが一服している。雇用者所得は、弱めの動きがみられている。

金融面では、預金・貸出金ともに増加している。この間、銀行の貸出約定平均金利は低下傾向にある。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の動向が、家計の消費マインドおよび企業の収益動向・資金調達環境・経営行動に与える影響などに注視していく必要がある。

＜景気動向の総括表＞

		前月 (2020年11月)	当月 (2020年12月)	前月から の変化
総括判断		引き続き厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。	新型コロナウイルス感染症の影響から弱さが残るものの、緩やかに持ち直している。	引き上げ
需要項目	個人消費	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響から弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられている。	弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられている。	据え置き
	観光	引き続き低水準にあるものの、持ち直しの動きがみられている。	低めの水準ながら、緩やかに持ち直している。	引き上げ
	住宅投資	弱めの動きがみられている。	弱めの動きがみられている。	据え置き
	公共投資	増加している。	増勢が鈍化している。	引き下げ
	設備投資	底堅く推移している。	底堅く推移している。	据え置き
鉱工業生産		持ち直している。	持ち直している。	据え置き
雇用・所得	労働需給	引き締まった状況にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から緩和方向にある。	緩和の動きが一服している。	引き上げ
	雇用者所得	弱めの動きがみられている。	弱めの動きがみられている。	据え置き

1. 個人消費

<p style="text-align: center; font-weight: bold;">個人消費</p>	<p>弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられている。</p> <p>—— 飲食料品や日用品などの販売が堅調に推移しており、持ち直しの動きがみられている。ただし、大型小売店等では新型コロナウイルス感染症の再拡大により客足の回復が鈍化しつつある。</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">観光</p>	<p>低めの水準ながら、緩やかに持ち直している。</p> <p>—— 新型コロナウイルス感染症などの影響がみられるものの、政府や自治体の旅行支援事業の効果などから緩やかに持ち直している。</p>

(参考)

<p style="text-align: center;">大型小売店等</p>	<p>スーパー等では飲食料品などの販売が堅調に推移しており、持ち直しの動きがみられている。ただし、専門店等では新型コロナウイルス感染症の再拡大により客足の回復が鈍化しつつある。</p>	
<p style="text-align: center;">コンビニエンスストア</p>	<p>冷凍食品などの販売が増加しているほか、観光地の客数も戻ってきており、持ち直しの動きがみられている。</p>	
<p style="text-align: center;">専門量販店</p>	<p style="text-align: center;">ドラッグストア</p>	<p>日用品などを中心に、販売は緩やかに増加している。</p>
	<p style="text-align: center;">ホームセンター</p>	<p>日用品やDIY関連用品などを中心に、販売は緩やかに増加している。</p>
	<p style="text-align: center;">家電大型専門店</p>	<p>テレビや季節商品などを中心に、販売は緩やかに増加している。</p>
<p style="text-align: center;">乗用車新車販売</p>	<p>新型車投入効果や、販売施策の効果がみられており、持ち直している。</p>	

2. 投資（住宅・公共・設備）

住宅投資	<p>弱めの動きがみられている。</p> <p>—— 持家・分譲戸建は、弱めの動きとなっている。貸家、分譲マンションは、横ばい圏内で推移している。</p>
公共投資	<p>増勢が鈍化している。</p> <p>—— 公共投資は、土木工事などで増勢が鈍化している。</p>
設備投資	<p>底堅く推移している。</p> <p>—— 12月短観における20年度設備投資計画をみると、前年度比+2.9%の増加計画となっている（製造業：同+10.9%、非製造業：同▲19.3%）。非製造業では大型投資案件の反動減を主因に減少しているが、製造業は新製品の生産対応に伴う投資の実施等から前年を上回る計画となっており、底堅く推移している。</p> <p>—— 10月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、前年を下回った。</p>

3. 生産

鋳工業生産

持ち直している。

- 鋳工業生産は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う下押し圧力が和らいでおり、持ち直している。
- 大分税関支署管内の輸出額は、前年を上回っている。

4. 雇用・所得

労働需給

緩和の動きが一服している。

- 有効求人倍率は下げ止まっている。短観の雇用人員判断 D.I.は「不足」超となっている。

雇用者所得

弱めの動きがみられている。

- 9月の雇用者所得（1人当たり現金給与総額×常用労働者数）は、前年を上回ったものの、飲食業を中心に、1人当たり労働時間が減少しているとの声が聞かれている。

5. 物価

消費者物価

10月の消費者物価指数（大分市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、▲0%台半ばとなっている。

6. 金融

預金

増加している。

—— 大分県内における実質預金残高（含む譲渡性預金、都銀・地銀・地銀Ⅱ・信託〈信託勘定を除く〉・信金・信組の合計、未残ベース）は、増加している。

貸出金

増加している。

—— 大分県内における貸出残高（都銀・地銀・地銀Ⅱ・信託〈信託勘定を除く〉・信金・信組の合計、未残ベース）は、増加している。

貸出金利

低下傾向にある。

—— 大分県内における貸出約定平均金利（総合・ストックベース、都銀・地銀・地銀Ⅱの加重平均）は、低下傾向にある。

企業倒産

低めの水準で推移している。

<当店のホームページのご案内>

(当店ホームページのトップページ)

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>

(大分県内の景気動向)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/geppou.html>

(短観)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tankan.html>

(特別調査レポートのご案内)

https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tokubetu_repo.html

(支店見学のご案内)

https://www3.boj.or.jp/oita/tennai_kengaku/kenngaku_annai.html

＜当店が公表している特別調査レポートの一覧＞

- [感染症拡大下でも底堅さを示す大分県の製造業](#) (20年11月18日公表)
- [大分県における観光業復活に向けた取り組み](#) (20年10月23日公表)
- [新型コロナウイルスの感染拡大を受けた大分県民の消費行動の変化](#) (20年9月11日公表)
- [県内企業における人材の確保・育成に向けた取り組み](#) (20年2月20日公表)
- [大分県の輸出構造と最近の動き](#) (19年11月1日公表)
- [大分県の企業立地](#) (19年10月25日公表)
- [大分県のインバウンド動向 ―世界的スポーツイベントの開催を前に―](#) (19年7月31日公表)
- [大分県の地価動向](#) (19年6月21日公表)
- [大分県のインターネット消費](#) (19年4月1日公表)
- [大分県の人口減少の緩和に向けて](#) (18年11月28日公表)
- [大分県内のキャッシュレス決済に関する現状整理](#) (18年10月25日公表)
- [観光消費の促進に向けた着眼点](#) (18年10月11日公表)
- [成長力強化が期待される大分県の農業](#) (18年6月19日公表)
- [イノベーションを捉え始めた県内製造業](#) (18年4月2日公表)
- [民泊の本格解禁に向けた県内の動き](#) (18年2月21日公表)
- [事業承継は県内企業の飛躍のチャンス](#) (18年1月24日公表)

以 上